

学びの多様化学校とは

学校に行きづらさを感じ、思うように登校できない子どもたちの実態や状況に配慮しながら、一人一人に合った学びを提供するために文部科学省が特別に指定した学校のことです。

学びの多様化学校では、通常の学校で行われている教育課程(カリキュラム)ではなく、子どもたちの状況に応じて、柔軟で多様な教育課程に基づき、教育活動を行います。

スクールビジョン

“自分らしく”を大切にできる、新しい学びのカタチ

安心できる学び

- 学び直しの場の設定
- 一人一人の学習状況に応じた最適な学習支援
- 少人数指導による細やかな配慮

つながる場

- 安心して自己開示できる仲間づくり
- 協働で学び合う学習の設定
- 地域、多世代との交流

広がる体験

- ワクワクする体験学習の充実
- 夢や希望につながる探究活動
- 未来を描くキャリア体験活動

4つの特色

① 校時表の工夫

始業時刻を9:30に遅らせ、登校へのハードルを下げます。1単位時間は45分間、1日5時間授業とし、負担感を軽減します。

② 個に応じた支援

個別の支援計画に基づいた丁寧な支援を行い、定期的な保護者面談で学習や生活の様子について共有します。

③ 生徒に寄りそう支援体制

スクールカウンセラーが常駐し、生徒や保護者がいつでも気軽に相談できる体制を整えています。(また、伴走的支援のための職員研修を推進しています。)

④ 独自の教科の設置

体験中心の「フィールドタイム」、マイペース学習の「マイスタディタイム」、関係性づくりの「ふれあいタイム」の学習を実施しています。

フィールドタイム

豊かな自然を生かし、様々な人と関わりながら体験活動や探究活動を行う

マイスタディタイム

理解状況や学習進度に応じて自主的に教科を選択し、学び直しを図る

ふれあいタイム

他者とのふれあいの輪を広げる経験を積み重ねる

★ 教育目標 あたたかな学びをひらく

教育目標を支える5つ視点

① 安心して学べる環境づくり

「安心して過ごせる」心理的安全性の確保

② 自己肯定感の回復・育成

「自己肯定感を育む」自分のペースでの学びによる自信の回復

③ 主体性・自己決定の育成

「自ら選び、決め、行動する力」特別の教育課程の柔軟性を生かした学びの実現

④ 協働性・社会性の育成

少人数での活動や体験的学習を通した「他者と関わる力」「社会とつながる力」の育成

⑤ 探究的な学びの重視

興味・関心に基づく探究活動

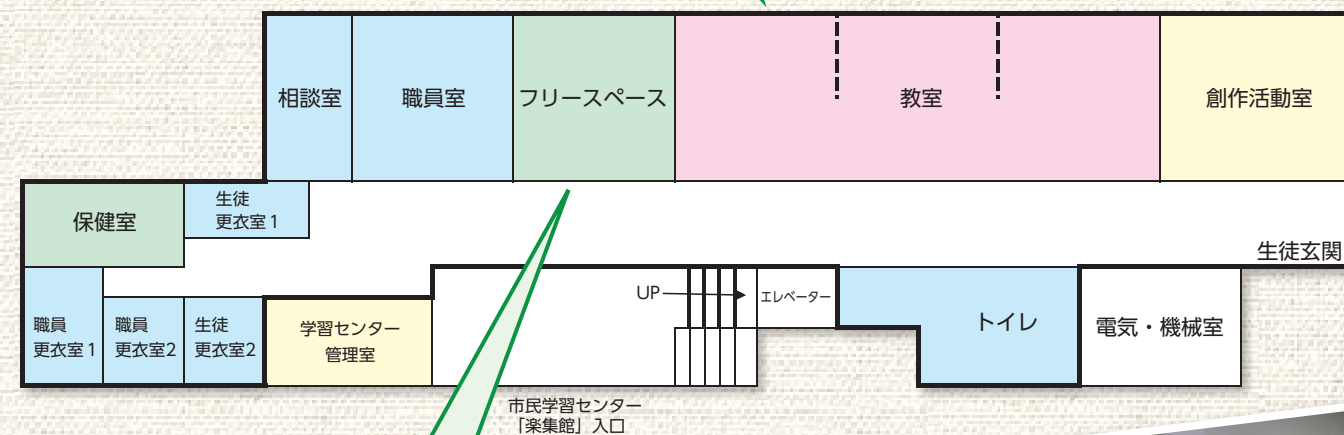


校内レイアウト



パーティションの配置を変えることで、さまざまな形態の授業が可能です。

一人一人が学習机に座って学ぶだけでなく、先生と子どもたちが考え、交流をしながら、自由に学べます。



ハンモックや個性的な形のテーブル、クッション、そして「ホントカ。」の司書が選定した図書を配置しています。

休み時間にゆっくり過ごすのも、本を読むのも、子どもたち次第。リラックスして学校生活を送れます。

